

MICRO ACEの新製品
鉄道模型マイクロエース

平成 年 月
 株式会社 マイクロエース

製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

A1103 国鉄EF53-10 初期型

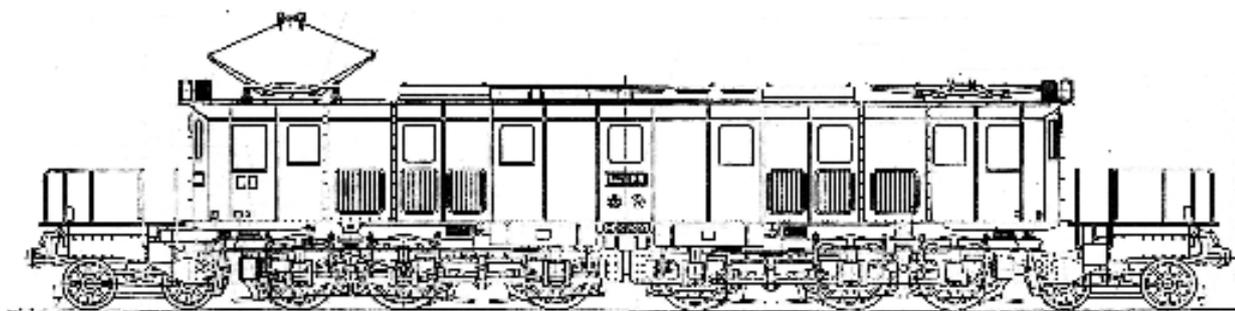
予価:7,000円(税別)

JANコード:099216 カートン内入数:内箱12 外箱24

A1804 国鉄EF59-24

予価:7,000円(税別)

JANコード:099506 カートン内入数:内箱12 外箱24



A1103

商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 単品プラケース入り)
実車	<p>【A1103】 EF53は国産初の大型電気機関車EF52の改良機で、戦前の大型電気機関車の標準機として1932年から19両が作られ、丹那トンネル開通後の東海道線で使われました。1～13号機と14～19号機とは台車中央部の形状が異なります。列車暖房用のボイラーを搭載していなかったため、同装置を搭載したEF58などに活躍の場を譲り、全機が歯数比を変更・自動解錠装置の取り付け・重連総括制御装置の取り付け等の改造をしたEF59へと改造されて山陽本線瀬野～八本松間の補機として活躍しました。 10号機は1932年に製造され、1964年に鷹取工場でEF59-12へ改造されました。現在、EF59-11号機から復元改造されたEF53-2号機が「碓氷鉄道文化むら」で保存されています。</p> <p>【A1804】 山陽本線瀬野～八本松間は連続した22パーミルの勾配が続くため、同線最大の難所として貨物列車には補助機関車がつきます。1963年の電化に際して、当時余剰となりつつあったEF53の歯数比を変更・自動解錠装置の取り付け・重連総括制御装置の取り付け等の改造をしたEF59が使用されました。最終的にはEF53だけでは足りず、EF56からも5両が改造されました。その後EF61-200番台が投入されましたが、重連運用のみはEF59が行っていました。1986年までに全機現役から退きました。 24号機は、EF56-12号機として1940年6月に製造、1972年3月に鷹取工場でEF59に改造されました。現在、EF59-1号機が「碓氷鉄道文化むら」で保存されています。</p>
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース 旧型電機機関車シリーズの更なる充実。 ・2001年発売のA1104:EF53,A1401:EF56,2004年発売のA1801:EF59に続く新バリエーション。 ・ヘッドライト点灯。 ・床下が引き締まる黒染め車輪を採用。
A1103	<ul style="list-style-type: none"> ・EF53前期型。2001年発売のEF53-16とは台車が異なります。 ・EF53の通常塗装として、お召し指定機だった前回発売品とは異なる仕様です。
A1804	<ul style="list-style-type: none"> ・EF56の後期型からの改造車。 ・片側の前面がゼブラ塗装になっています。 ・EF59-15と合わせて、重連でお楽しみ頂けます。